

FURNINE

TKC東京都心会総務委員会広報部会 発行人/大石 尚彦 編集責任者/山浦 佑太
第1HP <http://www.tkc.jp/tokyo-toshin/> 第2HP <http://www.tokyo-toshinkai.jp/pc/>
Blog <http://ameblo.jp/tokyo-toshin/> twitter <https://twitter.com/TKCtokyotoshin/>?an=ja
Facebook <https://www.facebook.com/%E6%9D%B1%E4%B9%A4%E9%83%BD%E5%BF%83%E4%BC%9A-TKC-156352834986995/>

2018年新春号



CONTENTS

巻頭言	2
新年の挨拶	3
理事会	16
税務署意見交換会	17
金融機関情報交換会	19
TKCモニタリング情報サービス	21
早期経営改善計画	22

FX2推進特別委員会	23
巡回監査率分析表	24
巡回監査士・巡回監査士補試験	26
新入会員紹介	26
軟式野球大会	27
企業防衛	27
賀詞交歓会	28

[illegible]

平成30年年頭にあって



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の7月に会長職を拝命し、半年余りが経ちました。昨年は、会員の皆様方にさまざまなご協力を賜り無事に会務を遂行することができました。

心より感謝申し上げます。

さて、昨年TKC全国会では、坂本孝司第7代会長が就任されました。坂本会長は、会員事務所が中小企業の存続発展に寄与できるように、事務所総合力を発揮できる体制にある事務所もその途上にある事務所も、それぞれの能力を生かせるように光を当てていく方針を表明されました。

「会計」を活用して、関与先である中小企業が金融機関との信頼関係を構築できるように、TKC会員事務所と金融機関が連携していくことが求められることを提唱されています。その強力なビジネスモデルが、「TKCモニタリング情報サービス」です。

中小企業金融の健全化というミッションが、中小企業をクライアントとする我々職業会計人および会計事務所に与えられています。新しいことをやるのではなくて、今までやってきている業務を変化させたり組み合わせたりして知恵を絞ることが必要だということです。

中小企業金融のポイントは、3つあります。一つ目は融資、二つ目は決算書の信頼性、三つ目は経営改善です。一番重要なことは、借り手となる中小企業と貸し手である金融機関との間にある「情報の非対称性」つまり両者の間の情報量の格差を緩和すること（シグナリング）です。

この格差を緩和し解消していくための施策が、TKC全国会創設50周年に向けての8年間（2014年～2021年）ロードマップの3つのステージのうちの第2ステージ（2017年～2018年）の運動方針です。

重点運動1：3大テーマに取り組み社会的な役割を全うしよう！

- 1.「中小企業会計要領」の普及・啓発
- 2.「書面添付」の推進
- 3.「自計化」の推進

重点運動2：事務所総合力を発揮し、高付加価値体制を構築しよう！

関与先企業に対して、地域金融機関と連携して「TKCモニタリング情報サービス」、「早期経営改善計画」等を積極的に展開する。

これらの運動方針を純粋に履行していくことによって、「情報の非対称性」を緩和し解消していくことになります。

また、「TKCモニタリング情報サービス」はシグナリングを活用したシステムであり、この情報は、職業会計人が専門分野（税務・会計・保証・経営助言）の具体的実践を示したものです。

会員および会員事務所職員の皆様におかれましては、「TKCモニタリング情報サービス」を実践して、関与先企業と金融機関の信頼関係の構築に寄与していただきたいと思います。

TKC東京都心会（TKC西東京山梨会と共同）では、管轄内に本店を置く西武信用金庫と連携し、TKC会計システムによって作成された信頼性の高い決算書類を提出している該当企業には、理事長名で「表敬状」を発行できる仕組みを構築しました。さらに、信頼性の高い決算書を提出できる事務所は、当該企業の融資案件（条件面等）の相談に直接関与できる体制も整えました。

会員・職員の皆さんにおかれましては、支部例会、研修会等に積極的に参加し、目標を一つずつ達成していただきたいと思います。そして、これらのツールをフル活用して信頼性の高い業務品質で関与先を支援していただきたいと思います。

2月2日（金）には、新春特別セミナー（賀詞交歓会）を開催し、「2018年政策発表」をさせていただきます。万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

本年の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。





副会長

濱路 義朗

新年あけましておめでとうございます。

TKC東京都心会会員の皆様におかれましては、晴れやかな初春をお迎えになり、心よりお慶び申し上げます。

昨年より、大石尚彦会長のもと東京都心会副会長を拝命し、システム委員会、研修所、巡回監査・事務所経営委員会、中小企業支援委員会を担当することとなりました。

また、TKC全国会理事という役目も併せて拝命し、前任の研修所長という所掌だけでも、責任重大と感じただけに、会長を直接サポートする役職に、浅学非才な私としては、汗顔の至りで、只々身の引き締まる思いです。

システム委員会以外は多少なじみのある所掌ではありますが、全国会からの数値目標（自計化FX推進、生涯研修54時間、巡回監査率の向上、TKCモニタリング情報サービス推進、早期経営改善計画）の達成や研修企画・会員への周知などしなければならない

課題は多数あり、各委員長の苦労を思うと、具体的なお手伝いのみならず、委員会・（正副）会長・理事会・各支部（長）との連携を図っていくことも重要な役目ではないかと考えております。

今年の干支は戌ということで、「見兎呼犬（兎を見て犬を呼ぶ）」の格言のように、どんなことでも遅きに失することは無く、思い立ったら失敗を恐れず、前向きに行動していきたいと存じます。

行動にあたっては、「不逃今日（明日から頑張るんじゃない。今から頑張るんだ！今この瞬間を頑張った者にだけ、明日が来るんだ。今日を逃げるな！）」（福本伸行著『賭博破壊録カイジ』より）をモットーに実践してまいります。

まだまだ、副会長としては力不足で心もとないと思われるでしょうが、大石東京都心会の裏方として皆様のお力添えでご指導ご鞭撻をいただければと存じます。

最後に、会員の皆様方がご健勝であり、ますます発展し、中小企業の存続発展に寄与されますことを祈念申し上げます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



副会長

齋藤 潤

新年明けましておめでとうございます。

昨年7月に副会長職を拝命し、はや半年が過ぎました。

大石尚彦会長のもと、毎月開催される正副会長会で各施策を検討し、各委員会、各支部の活動状況を確認し、2ヶ月に1回の理事会で理事の皆さんと活動方針と活動計画を確認しながら、会務を執行しております。

なかでも、総務委員会（経理部会、広報部会、厚生部会）、企業防衛制度推進委員会、リスクマネジメント制度推進委員会、資産活用委員会を担当しております。

各委員会ともに、会の事業目的に沿ったそれぞれのテーマを持って、活動を展開しているところであります。

会長方針のもと、TKC全国会の重点活動テーマに軸足を置き、できるところから実践していくという

ことが大切であると考えております。巡回監査の徹底、FX2による自計化推進、書面添付の実践、中小会計要領の実践、TKCモニタリング情報サービスの促進、早期経営改善計画の実践をひとつひとつクリアしていただきたいと考えております。理事も率先垂範で取り組んでまいり所存です。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長・新宿支部支部長

梅本 昇

東京都心会のみなさま、新年あけましておめでとうございます！

昨年中は会務に多大なご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。この場を

お借りして深く感謝を申し上げます。

私が新宿支部長の席をお預かりしてから早6年目に突入しました。毎回の例会・懇親会・支部旅行の車中酒盛り(汗)などなど新宿支部の会員や提携企業の皆様と楽しい時間を共に過ごすことができて本当に幸せでした。これもひとえにダメダメ支部長を皆さんが支えてくれたおかげであり、特に副支部長たちが一生懸命支部運営に尽力してくれた賜物であると思います。いつもいつも感謝感謝です。

新宿支部会員は【大いに遊び、大いに仕事をする】というスタイルを貫いています。宴会の席ではお互い肩を抱き合い心底皆で楽しみ、TKC活動では常に東京都心会を牽引する立場にあるといっても過言ではないと思います。モニタリング、書面添付、巡回

監査率に自計化推進、企業防衛、どれをとっても他支部を圧倒しています。しかし王者新宿にも1つだけ勝てないものがあります。それは【支部例会の会員参加率】です。全国会の目標は50%超の参加率、すなわち会員の半数以上が例会に参加することが目標となっているわけです。四谷支部は見事にそのハードルをクリアしました。天下の新宿支部がこのままでは終わるはずありません。まずは今月の新年会で40%超え、そして8月の支部総会で50%超の達成を目指してまいります。新宿支部会員の皆様、新宿支部をさらに活性化していくため会合へのご参加ご協力をぜひお願いいたします。そして大石尚彦会長新体制のもと、何か1つでも全国会で1位を獲得して東京都心会ここにあり！を坂本孝司TKC全国会会長に披露いたしましょう。そのために私は最後まで全身全霊で頑張りぬく所存です。

さらに将来の新宿をリードしてくれる若手会員を一人でも多く育てていくこと、宴会の席で誰もケガすることなく笑顔で参加できるアットホームな支部を作っていくことに今年は力を注ぎたいと思います。

新宿支部のみなさま、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長・四谷支部支部長

田中 順子

皆さま新年あけましておめでとうございます。

いつも東京都心会の会務・運営そして支部活動にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

去年の四谷支部は本当に盛り上がった1年でした。執行部を始めとする会員が一丸となって支部をまとめてくださったお陰で、8月の総会では悲願の会員出席率54%を達成しました。中には久しぶりの会員にもお越しいただき、四谷支部の活性化を感じていただきました。また秋期大学のレセプションでは東京都心会において初の会員出席率50%超達成の表彰をしていただき、TKC全国会の坂本孝司会長、TKC東京都心会の大石尚彦会長と共に執行部一同で写真撮影、さらには支部対抗の出し物で優勝までいただき四谷支部の盛り上がり象徴する1年となりました。そして12月に行われた望年会で総勢60名もの方々と共に豪華なフレンチを堪能し、皆さまにも大変喜んでいただけたと思います。私にとって忘れられな

い感動の締めくくりとなりました。

今年は「戌年」、去年の「酉年」は商売繁盛や「取り」→「採り」と収穫という意味のある1年でしたが、「戌年」は収穫後の1年となり「守りの年」といわれています。アフターフォロー、リスクヘッジをすることで既存の関与先を守り、それが信頼と商売へと繋がっていく1年ということになります。

会計の自動化が進み、便利になればなるほど顧問料を値下げしなければ関与先離れが進んでいます。もともとは知識と手間を売る仕事ですが、税法もインターネットの普及で関与先自らが知識を仕入れることができ、税理士の知識にだんだん近づいてきている中、税理士業界に危機感を感じている税理士も多いと思います。この状況で何をすべきか、どんな付加価値が大事かを考える時代がやっています。関与先に「ありがとう」と言っていただける仕事を提供していくことがますます必要になってきます。

2018年は支部会員に「早期経営改善計画・TKCモニタリング情報サービス」をできることから始めていただき、支部の底力を見ていただく1年としてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



副会長・渋谷目黒支部支部長
森脇 仁子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、渋谷目黒支部の活動にご協力いただきありがとうございました。支部長に就任してはや3年目になりますが、6名の副支部長をはじめとする皆様に支えられ、支部活動を行うことができました。今年も、121人という大所帯の支部会員の皆様に、一人でも多くの方に支部例会などの支部行事にご参加いただき、TKC東京都心会大石尚彦会長のメッセージをはじめ、重点課題や活動状況等をお伝えしていきます。そして東京都心会一丸となって関与先の永続的発展のために活動していくことができる環境を整えていこうと、心新たにしております。

我々と、我々の関与先を取り巻く経済環境は、年々変化のスピードを上げています。

FinTechという言葉が出てきたと思ったら、ビットコインなどの仮想通貨があったという間に登場してきました。会計や税務の世界も、ITどころかAIの進化により自動化が進んでいます。レジを打てば自動的に仕訳が計上され、領収書をスマホで写せば自動的に仕訳が計上できる時代です。その中で我々に求められているのは「正確な会計帳簿」を基軸として①税務、②会計、③保証、④経営助言の「四つの分野の専門家」という社会的な役割を発揮すべきだということです。租税正義の実現、中小会計要領の大合唱、書面添付、そして早期経営改善計画策定支援事業を中心として、我々がこの役割を発揮できれば、ITやAIに負けるどころか、逆に使いこなしていける時代であります。これらの活動を支部の皆様にお伝えし、大石尚彦会長をお支えして東京都心会を盛り上げてまいりますので、今年も皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



中野杉並世田谷支部支部長
加藤 博資

あけましておめでとうございます。

中野杉並世田谷支部として、今年度、「事業承継」をテーマに支部例会を企画・

運営しております。

TKC全国会の重点運動2にも「事務所総合力を発揮して、高付加価値体制を構築しよう！

関与先企業等に、提携金融機関と連携して

◆TKCモニタリング情報サービス

◆経営改善支援（早期経営改善計画策定支援）

◆創業、事業承継、海外展開支援等を積極的に展開する」

支部例会では、これらをテーマにした研修会を企画したいと考えています。

11月に「親族外事業承継」については、(株)TBCの渡部潔氏をお招きし、中小企業の事業承継の実態、税理士事務所が取り組むべき課題等を解説していただきました。

12月に「種類株式」について、司法書士の宮本敏行先生をお招きし、会社法で規定している「種類株式」について、実務上どのように活用されているか等を解説していただきました。

今後のテーマについては、民事信託、企業防衛（事業承継・相続対策）、日本政策金融公庫等の制度融資、成年後見制度といった事業承継に関する事案を法律面・金融面・経営面から取り上げていこうと考えています。

開催日時を事前に発表しておりますので、ぜひ、支部例会にご参加いただきますようご案内申し上げます。



総務委員会委員長

太田 勝久

ITやAIなどの進展に関する記事は、毎日途切れることなく目に入ってくる一方で、昨年は日本のサービス産業や企業の事務部門における生産性の低さも課題としてよく取り上げられるようになってきました。

『TKC会計人の行動基準書』には「TKCシステムの徹底活用により中小企業の存続、発展を支援しなければならない」とあり、会員はTKCシステムを中心とした最新技術への積極的対応に努めなければならないとされています。そして、すでに自計化システムの「銀行信販データ受信機能」や「TKCモニタリング情報サービス」をはじめ、さまざまな合理化のためのシステムの開発がなされ、会員にとってはその徹底活用が顧問先の存続、発展に資する環境になってきています。

今後も法令の改正や市場の変化に対応し、外部の新たな利用価値のあるハードウェアやソフトウェアとの連携などの取り組みをも含めたTKCシステムの

さらなる進化をTKCが推進し続けることを期待しつつ、『TKC会計人の行動基準書』にある「TKCシステムの徹底活用」を全会員が行っていくことを願っております。

東京都心会の会報誌「FOURNINE」につきましては、山浦佑太広報部会長の下で、昨年も誌面を充実させ前回号においては会員以外にも約60団体、約290部を配布し購読いただき好評を得ております。本年も次のようなサイクルで発行することを計画しており、TKCブランドのイメージアップのために役立てれば何よりであると考えております。

- ・1月新春号：役員新年抱負他
- ・3月早春号：政策発表、賀詞交歓会、税務署との意見交換会他
- ・7月夏号：生涯研修開講式他
- ・11月秋号：秋期大学他

本年も引き続きご愛読よろしくようお願い申し上げます。



システム委員会委員長

森木 隆裕

新年、明けましておめでとうございます。

金融機関向けFinTechサービスである「TKCモニタリング情報サービス」、関与先企業向けFinTechサービスである「銀行信販データ受信機能」および証憑のスキャナ保存を行う「TKC証憑ストレージサービス」。この3つのサービスが代表するように、現在TKCのシステムはITを使い、さまざまな新しい展開を見せています。

地域会におけるシステム委員会の役割は、TKCシステムの開発思想を正しく理解し、TKC会員に正しく伝達することをもって、TKCシステムの普及にあたることだと思っています。

しかし現状では、上記のような激しい変化の中、私自身が東京都心会のTKC会員の皆様に、TKCシステムについて十分説明しきれていないもどかしさを感じております。それが、昨年の私の反省です（システム委員長を拝命してから、ずっと反省している

のかもしれませんが…）。

今年は、東京都心会のシステム委員の力をお借りし、一步でも、二歩でも、TKCシステムの開発思想を正しく皆様にお伝えし、システムの普及に当たっていききたいと思います。具体的には、各委員会の開催する研修等で、システムが関係する部分に関してシステム委員が説明し、他の委員会と連携を取りながらシステムの普及に係わっていきたいと思っております。また、TKCシステムのシステムロジックに関しては、ヘルプデスクなどに質問できるのですが、TKCシステムの使い回し、活用の仕方については、質問したいことがあってもなかなか質問する場所も、機会も少ないのではないかと、思っております。この点に関しては、TKC首都圏西サービスセンターと連携を取らせていただき、TKC会員を支援する仕組みを作れないか、今年は考えていきたいと思っております。

今年もよろしくお願いいたします。



TKC東京都心研修所所長
村田 顕吉郎

謹んで新年のお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

研修所では引き続き「生涯研修54時間受講の達成」「巡回監査士、巡回監査士補試験の合格」を通じて事務所の自計化・月次巡回監査体制の確立と職員のスキルアップのご支援をしたいと考えております。

私たち職業会計人にとっての仕入れは研修による知識の習得ですが、その研修を受けている目安となるのが「生涯研修54時間受講」です。研修が多く把握できないという声を受け、昨年より毎月「研修開催日程」のご案内をお送りしています。翌月の研修開催状況が一目で分かり、そのまま「案内文依頼」「研修参加申し込み」ができるようになっていきます。また、ProFITのオンデマンド研修ではシステム、税法、巡回監査等たくさんの研修を配信しています。オンデマンド研修は時間を選ばず、細切れに受講することもできます。個々人で見ただけでなく、事務所全体の

研修で上映するなど、ご活用いただければ幸いです。

巡回監査士試験制度は、税法や巡回監査の基礎を学ぶ「巡回監査士補(試験)」と、より高度な税法知識を身につけ事務所の幹部職員を目指す「巡回監査士(試験)」があります。毎年6月頃から各税法講座が始まり、11月初旬に試験が全国一斉に行われます。東京都心会では、税法講座を大原学園の講師陣に依頼しており、プロによるツボを押さえた授業はとても分かりやすいと大好評です。まずはぜひ税法講座を受講してください。そして講座の受講後は、効果測定場として試験に挑戦しましょう！知識はインプットするだけでなく、さまざまな形でアウトプットをすることで定着します。試験勉強と受験を通じて理解を深め、使える知識として身につけてください。合格者は税理士新聞への掲載や表彰があるだけでなく、今後は研修会なども開催予定です。

社会と関与先企業に貢献するため、TKCの研修と巡回監査士補(試験)を存分にご活用いただきますようご案内申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



企業防衛制度推進委員会委員長
尾藤 清隆

明けましておめでとうございます。

昨年度は、TKC東京都心会企業防衛制度推進委員会にとって歴史的な1年となりました！

まずは、上期及び下期において圧倒的強さをもって、実働率表彰部門において、連続全国1位を守り抜きました。おかげさまで、実働率表彰全国1位を24回連続で飾ることができました。

また、下期の保険指導強化期間においては、東京都心会のミッションでもあり合言葉にもなっている「トリプル1位」を見事達成いたしました。

新規加入関与先部門は、強化期間終了まで10日を切った段階では全国4位でしたが、残り10日間で怒涛の追い上げによって1位を獲得いたしました。新契約部門は、2位に大差をつけての1位となりました。

昨年度下期保険指導強化期間を振り返って、あらためて、東京都心会会員の保険指導の熱意や心のつながりを実感いたしました。本当にご協力ありがとうございました。

ございました。

企業防衛制度推進委員会は、本年3月をもって年度の締め切りとなります。昨年度下期強化期間の勢いをもって、新規加入関与先部門及び新契約部門も年間1位を狙ってまいります。私たちにとってこれから超繁忙期になりますが、標準業務である保険指導も引き続きお願いいたします。

昨年はエリア制による実働率表彰施策を企画し、各エリアのリーダーには、本当にご尽力いただきました。

また、支部推進委員長には各支部長と連携いただき、各支部での推進を強力にバックアップいただきました。

本年も企業防衛戦略メンバーが一枚岩となって、企業防衛推進活動を盛り上げてまいりたいと思います。

昨年度同様、今年も「トリプル1位」そして「KBD利用率1位」を目指して頑張ってまいります！！

企業防衛制度推進委員会が東京都心会のブランドになれるように、本年もご指導ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



リスクマネジメント制度推進委員会委員長
増山 充

新年、明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

近年、企業を取り巻くリスクは多様化・複雑化しており、企業が存続・発展していくためには、各種リスクへの適切な対応が不可欠となっております。平成23年3月11日の東日本大震災以降、各種リスクへの対応について関心度が増している中、ここ数年の間に、自然災害はますます頻発し、これにともない、さまざまな損害に対する高額賠償事例も多く発生しております。

われわれTKC会計人は、昭和38年9月9日の飯塚毅会計事務所における業務命令文書を発端として、50年以上にわたり、関与先のトータルリスク管理指導を行ってきました。今後も飯塚毅全国会初代会長の想いを引き継ぎ、関与先中小企業の完全防衛に当た

らなければなりません。リスクマネジメント制度推進委員会では、平成26年7月より、実際に関与先のリスクマネジメント指導を行う手法を学んでいただく機会として「リスクアセスメントレポート作成研修」を開催しております。また、いま一度、損保登録事務所としてリスクマネジメント指導に当たる意義を確認いただくべく、「損保指導スタート研修会」を開催していく予定です。当該研修等の受講を機に、東京都心会全会員が実際に関与先に対してリスクマネジメント指導を実践し、関与先の完全防衛に向けて邁進されることを切に願っております。

最後に、当委員会では、TKC会員事務所用「情報漏えい保険」の募集を開始しております。TKC会員専用の団体契約のため低廉な掛金で充実した補償を確保できます。皆様の事務所に資料を送付しておりますのでリスク対応策にぜひご加入を検討ください。この1年がさらなる飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



巡回監査・事務所経営委員会委員長
小林 章一

新年あけましておめでとうございます。

私の好きな株式相場の格言に、「辰巳天井、午しり下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑つまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」というのがあります。昨年の平成29年酉年は、トランプ米国大統領が就任し、北朝鮮の大陸間弾道ミサイル発射や横綱の暴力問題などで、やはり騒いでいた年でしたが、悲願の稀勢の里の初優勝と横綱昇進は、日本中が久しぶりに大相撲で沸き返ったうれしい年でもありました。戌年の今年平成30年は、冒頭の格言の通り「笑い」の年にできたらと思います。

皆様よくご存じの通り、TKC東京都心会の翌月巡回監査率は、ここ数年連続して全国最下位付近が定位置となってしまっています。また、TKCモニタリング情報サービスは、実践事務所数と実践企業数のいずれも低迷が続いており、このままだとこちらも

全国最下位付近が定位置になってしまうかもしれない状況です。昨年11月に行われたTKC全国会巡回監査・事務所経営委員会の席では、翌月巡回監査率のワースト順の席に座らされ、悪い方の代表としてコメントをさせられるはめとなり、その場は仕方なく笑いを取ることに懸命になったのですが、次の全国委員会ではその笑いではなく、良い方の代表として笑顔で楽しくコメントする席に座りたいと思います。TKC東京都心会では、昨年11月から「TKCモニタリング情報サービスのスタートアップキャンペーン」や「支部巡回監査率移動平均アップキャンペーン」を実施しておりますが、全国の他の地域会でも、今までとは明らかに違う意気込みで、翌月巡回監査率の向上とTKCモニタリング情報サービスの利用促進活動を行っているようですので、甘くはありません。まずは当年度のTKCモニタリング情報サービスの目標数をクリアするとともに、翌月巡回監査率を全支部で5%以上改善していただけることを第一目標にしたいと思います。皆様、引き続きご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



書面添付推進委員会委員長
重田 正人

東京都心会の皆様、新年あけましておめでとうございます。当委員会は委員会名そのままに、会員事務所への書面添付実践の推進とご支援を目的に活動しております。全

国での書面添付の実践割合は年々増加してはいるものの、最新の発表では、法人税は8.8%、所得税では1.3%とまだまだ非常に低い実践割合にとどまっております。しかし、毎年秋口の国税局長への表敬訪問を皮切りに実施しているエリア内の全税務署との意見交換会では、税務署幹部の方々から、我々税理士に対し「書面添付実践を非常に期待している」という言葉を非常に多くいただきます。限られた数の税務署職員で効率的な調査を行うために、税理士の手の行き届いている企業は税理士に任せ、手の行き届いていない企業を集中的に調査することで、適正申告企業を増やしていきたいとのスタンスがより一層鮮明になってきた証しであると思われます。また、金融機関も書面添付実践企業に対する、低利融資商

品や融資実行期間短縮等さまざまなインセンティブを設けてきております。これらは、書面添付制度に対し社会が非常に評価を高めているためだと思います。月次巡回監査体制が整っていれば、書面添付実践にあたり関与先企業に新たな負担が生じることは無いと思います。また税理士の責任が重いとお話をお聞きすることがありますが、実践してもしなくても税理士としての責任からは逃れることはできず、逆に書面添付の実践により意見聴取の権利を得ることができます。違いは虚偽記載の条文だけです。このように書面添付実践は関与先企業にとっても会計事務所にとってもメリットがたくさんあります。多くの会員の皆様は関与先の永続的發展を喜びと考えているのではないのでしょうか。ぜひとも関与先企業のために、書面添付実践による関与先の永続的發展をご支援していただきたいと思います。我々書面添付推進委員会は、会員事務所の書面添付実践を全力でご支援させていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



ニューメンバーズ・サービス委員会委員長
鳥山 昌秀

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、「TKC会員1万事務所超体制構築並びに会員事務所の税理士数1.5万人」の目標達成への取り組みに対し、

多大なるご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

この会員増強活動は、我々職業会計人を取り巻く社会的環境の激変に対応するため、また職業会計人の職域防衛と運命打開に向けて、職業法規の改正や中小企業政策への積極的な提言を行うため、そして、TKC全国会が果たすべき役割である「2021年に向けての政策課題」を実効性のあるものにしていくために必要であるとともに、東京都心会の活性化にも直接影響いたします。

本年も会員導入特別委員会との連携を保ちながら、会員増強活動に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き目標達成に向け、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、旧年中の会員増強が進む中、当委員会ではニューメンバーズ会員へのフォローについても喫緊の課題であると認識し、フォロー活動の充実に向けて検討を重ねてまいりました。本年はその成果を活かすべく、ニューメンバーズ会員への支援体制の強化及び支部、地域会活動への誘導に関しても積極的に活動してまいりたいと考えております。具体的には、「ニューメンバーズフォローセミナー」と「NM会員支援訪問」を中心に、それぞれの内容の見直し、他委員会との合同企画の充実、支部、地域会活動参画への啓蒙など、ニューメンバーズ会員の一日も早いレベルアップと支部、地域会活動の活性化の一助となるよう活動をしてまいります。

関係委員会との連携をさらに強化し会員増強活動を推進すること、そしてフォロー活動をより充実したものとすることが、東京都心会ひいてはTKC全国会が社会的影響力を持つこととなるため、「1万事務所超体制」の早期構築に向け、委員会メンバーが一丸となって邁進していきたいと考えておりますので、さらなるご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



中小企業支援委員会委員長
鈴木 信二

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

中小企業支援委員会は、TKC運動の外部への発信の役割を担っています。さまざま

な取り組みを行っておりますが、本年も引き続き目指すべき大きな目標は、早期経営改善計画策定支援事業に取り組む会員事務所の拡大と実践件数の増加並びにTKC経営支援セミナー、会計啓発・普及セミナーの開催事務所の拡大の2つです。

早期経営改善計画策定支援事業は、金融支援が不要である関与先とともに、ほとんどすべての関与先が対象となる認定支援機関の新たな事業です。TKC会員事務所が経営支援能力をつけ、AI・ICTの技術進化に負けない体力をつけていただきたいとの思いから、事業開始より取り組みを始めております。今年も引き続き、実践のための研修やノウハウの共有などを行ってまいります。事務所の付加価値増大のため、実践する会員事務所及び職員を増やしてい

きたいと考えております。

TKC経営支援セミナーは、会員事務所の情報発信力の強化のため、会計啓発・普及セミナーは、中小機構とコラボしたセミナーで、中小会計要領のポイントとその活用方法を関与先や金融機関に伝えるために昨年10月から当年2月の間に行います。さらに本年10月から全国一斉の事務所セミナーの開催を企画しております。

中小企業庁では、我が国において中小企業の事業承継がスムーズに行われておらず、このままでは中小企業が持つ技能や技術等の稼ぐ力が損なわれてしまうという懸念から、今後5年程度を事業承継支援の集中実施期間とし、支援体制、支援施策を抜本的に強化することを発表しました。会計事務所が中心となり、関与先の事業承継が進展することが社会から期待されています。

当委員会においても、今後、事業承継支援のための研修やセミナー開催のためのコンテンツを作成して行く予定です。

早めの情報発信が大切です。本年10月以降の事務所セミナーの開催を決断し、各事務所の本年のイベントに加えていただきますようご案内申し上げます。



共済制度等推進委員会委員長
種生 丈士

新年あけましておめでとうございます！年頭にあたり、会員の皆様に謹んでご挨拶と、共済活動への日頃のご理解・ご推進に対する御礼を申し上げます。

当委員会では、TKC全国会創設50周年に向けた昨年からの第2ステージを、平成31年から始まる第3ステージに向け全会員が三共済制度に取り組む体制の整備を行う2年間と位置付け活動を行ってまいりました。大きく分けて2つある活動は、参加会員数の拡大と支部活動の強化を主眼としております。

1つ目の活動は、中小事業者の経営者の高齢化という時代背景の中で、国の施策である小規模企業共済制度の推進に重点を置いた普及・推進活動です。具体的には、毎月の情報提供や推進ツールの提供、キャンペーン及び三共済クラウドのレベルアップの周知と利用促進等になります。

2つ目は、金融機関、商工会議所等他の委託団体

の推進活動が活発になる中、三共済制度の関与先への情報提供の必要性和三共済制度の役割を十分に理解していただく啓蒙活動です。具体的には、研修（ランチ研修、KFS実践講座）等になります。

2つの活動は、徐々にではありますが、数字という成果となって表れてきているように感じております。

なお、1つ目の活動にあります推進ツールと三共済クラウドは、その充実とレベルアップに目覚ましいものがございます。ぜひともご活用ください。

本年も皆様への普及・推進活動と啓蒙活動を、引き続き委員会メンバー丸となって精一杯行う所存でおります。三共済制度の提案が、会員皆様の事務所の標準業務として定着することを目標として努力してまいります。皆様には変わらぬご理解とさらなるご推進活動をお願いいたします。

また、当委員会は創設から4年目の若い委員会ですので、今後の委員会発展のためにも、皆様から忌憚のないご意見ご要望をお聞かせ頂けると幸いです。

最後に、本年が皆様にとって笑顔の絶えない良き1年となりますようお祈り申し上げます。



資産活用委員会委員長
小林 憲史

明けましておめでとうございます。

昨年7月より、資産活用委員長を拝命した小林憲史です。中野杉並世田谷支部に所属しています。

前任の笹本秀文委員長は、委員会創設時から委員長をされ、資産活用委員会を立派な委員会に育てていただきました。私もこの流れを止めることなく、さらに発展させていきたいと考えております。

資産活用委員会は、積水部会、大和部会の二つの部会があり、関与先の資産防衛を目的として活動を行っています。

ところで平成27年の相続税改正により資産防衛のニーズが高まっているのは周知の事実ですが、実際に日々実感しています。しかも東京都心会のエリア地域はこの改正が直撃した地域であります。

また都市農地の2022年問題、企業の後継者不足による廃業等による不動産の組み換え活用など、税理士が取り組むべきニーズは多岐にわたり、しかもい

ずれも単純ではない問題点を秘めています。

会員の皆さんも、関与先の資産防衛案件について、その問題点と解決策に頭を悩ます時が多々あると思います。

そのような時にこそ、資産活用委員会に連絡いただき（委員でも提携企業の担当者でもかまいません）、情報提供していただければ、その解決ができるようサポートいたします。

お気軽にご連絡ください。

当委員会は、今年は以下の点に重きを置き活動していきたいと思っています。

- ①協定会員数を増やす
- ②会員に資産税関係を中心とした、有意義な研修を提供する
- ③資産防衛に関する、有用な情報を会員に提供する
- ④資産活用委員会の認知度を上げる
- ⑤会員からの情報提供を増やす

石川博行大和部会長、藤本昌久積水部会長、各委員、提携企業である大和ハウス工業(株)、積水ハウス(株)、の担当社員の皆さんとともに頑張っていきたいと思っています。

どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。



TKC東京都心政経研究会幹事長
緒方 隆幸

TKC東京都心政経研究会幹事長を拝命して4年半が経ちました。政治とは無縁な私でしたが、さまざまな局面で皆様のご指導をいただき大変お世話になりました。

TKC東京都心政経研究会の2017年は

- ・ 1月24日に東京税理士政治連盟とTKC東京5会政経研究会との初の懇談会が開催され、活発な意見交換が行われました。
- ・ 国政選挙以外は携わらない政経研が、7月の東京都議選挙では、特例的に2名の候補者を応援し、お二人とも当選されました。
- ・ 10月には第48回衆議院議員選挙が施行され、TKC全国政経研究会が推薦した候補者数140人のうち131人が当選し、当選率93.6%という結果でした。TKC東京都心政経研究会としては、海江田万里氏（東京都第1区：立憲民主党）、石原伸晃氏（東京都第8区：自由民主党）を推薦し、お二人とも当選さ

れました。

- ・ 10月27日にTKC東京5会政経研究会連絡協議会を石和温泉において、東京都心政経研究会を幹事地域会として開催しました。

2018年は事業承継税制が改正され、後継者不足等による事業承継問題が大きく取りあげられる年になると思われます。

政経研としては「税法・会計において帳簿の遡及的な訂正・加除履歴の保存、適時に正確な記帳要件を課すこと」をはじめ、中小会計要領・書面添付の普及推進や中小企業の存続発展に寄与するための法環境整備に取り組んでまいります。

「TKC会計人は、自由社会の存亡が、職業会計人の存亡と直結しており、より公正な職業法規の改訂実現と、より綿密な租税正義の実現のための各種税法等の改正実現が、国会に依存している現実を直視し、清潔・公正・有能な国会議員との強力な連携関係を構築し、その当選に絶対の責任を負う会計人集団である」（TKC会計人の基本理念17より）



FX2推進特別委員会委員長
山岸 崇裕

新年あけましておめでとうございます。昨年はFX2推進特別委員会に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は大石尚彦会長から委員長を拝命し、新たなスタートを切った年となりました。

新しい委員も参加し、皆様方のお力添えをいただきながら、万事予定通りの活動を推進することができました。ここに改めて心より感謝申し上げます。また本年も皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、現在のTKC全国会3大運動方針の一つに「自計化」が掲げられております。自計化はTKC会員事務所の基本的かつ絶対的な行動指針の一つですが、その普及には長年苦戦しております。新年にあたりまして、TKC東京都心会の各事務所におかれましては、改めて自計化推進についてご深慮をいただき、事務所の年度方針として「自計化堅持」の旗を高く掲げていただければと思います。

この点、先日の自計化セミナーで入所3年目の職員の方が「なぜ自計化するのか」について真正面から答えておられましたのでご紹介いたします。その職員の方は「私は自計化のおかげで、お客様とパートナーになった」という珠玉の確信を述べておられました。自計化と巡回監査によって、職員自らがお客様にアドバイスする立場になり、自然とお客様が心を開いて受け入れて

くれ、パートナーに昇華していく、ということだと思います。

このように自計化は、単にお客様に記帳をさせるという低次元の作業行為を表わすものではなく、その波及効果は、人材育成、書面添付、企業防衛など多方面にわたり、かつ、すべてが底上げされるという意味で、事務所の発展・経営安定に大きく貢献します。

自計化事務所であれば、入社3年目の職員の方が、お客様のために仕事をし、お客様から信頼を得てパートナーになっている、ということが何よりの証左でありましょう。

記帳代行では、このような覚悟を持つ職員を育てることが容易ではないということを考えれば、実は、人材育成という観点がTKC自計化の最大効果の一つではないかと思えます。東京都心会では、書面添付や企業防衛など施策が盛りだくさんではありますが、「最大の財産は足下にあり！」ということで、まずは自計化という基本原則を徹底断行していただければと祈念いたします。FX2推進特別委員会ではご要望があれば、各事務所へ訪問し、自計化推進にあたりどのような課題があるのか、解決策は何かなどについて膝詰めで支援いたします。どうぞお気軽に当委員会またはTKCSCGまでお声がけいただければと思います。

皆様のご活躍、そしてTKC自計化推進事務所の大発展を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もFX2推進特別委員会を何卒よろしくお願い申し上げます。

『TKC会計人は自計化方針を高く掲げよう』



会員導入特別委員会委員長
大井 敏生

明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願いいたします。

現在TKC全国会では、TKC全国会創設50周年(2021年)に向けた戦略目標の一つとして

「TKC会員事務所数1万超事務所」の体制確立を掲げ、運動しています。その目標達成のために東京都心会は会員導入特別委員会を新しく設置し、東京都心会全体としての会員導入活動の推進に取り組んでいます。

具体的な活動としては、①全国会企画セミナーの動員・運営、②東京都心会独自セミナーの企画・開催・運営、③事務所見学会の企画・開催・運営、④会員からの紹介活動の推進などを行っています。

東京都心会の会員数は平成25年から増えておりません。これは、会員導入は進んでいるものの、他地域会への転出や廃業などが多いことが原因です。今

後も他地域会への転出数や廃業数は増加することが予想されます。

この厳しい状況を打破し、より多くの新しい仲間を増やすことができれば、支部が活性化され、東京都心会全体の活性化に繋がることになります。また、TKC全国会が戦略目標として掲げているFXシリーズの導入件数、継続MAS登録件数、書面添付件数、企業防衛制度加入件数などがこれまで以上に上乗せされることになります。

東京都心会が進めているさまざまな運動は、会員増強によってこそさらに盛り上がっていくものであると考えています。

今年は、ニューメンバーズ・サービス委員会と、より一層の連携強化を図りながら積極的に運動して参る所存です。

ぜひとも、その趣旨をご理解いただき、会員導入活動にご協力いただければ幸甚です。

本年も、何卒ご指導ご鞭撻を賜れますようお願い申し上げます。



TKC首都圏西SCGサービスセンター
センター長 早川 博

TKC東京都心会の会員先生方、職員の皆様方、新年おめでとうございます。

昨年10月よりTKC首都圏西SCGサービスセンター長としてTKC東京都心会を担当させて

いただいております。

TKC東京都心会では大石尚彦会長のもと、統一テーマとして「TKC会計人の使命を自覚しよう!」を掲げられ、TKC全国会の6つの事業目的の達成に向けて活動されていらっしゃることに敬意を表します。ご承知の通り、本年は「TKC全国会創設50周年に向けた戦略目標」達成に向けた第2ステージの最終年を迎えます。TKC会計人の使命として、職業会計人の社会的な役割である四つの分野（①税務業務 ②会計業務 ③保証業務 ④経営助言業務）の専門家たる力量が問われている時代だと理解しております。特に③保証業務は「信頼される決算書」を担保する上で書面添付が欠かせない要素かと思われます。ま

た、間接的ではありますが、金融機関が中小企業の決算書の信頼性を確認するに利用できる唯一の法的根拠を持った制度であります。従って金融機関は、これから書面添付の有無に注目せざる得ないと思われます。さらに、TKC会計人であれば会社法が定める記帳の適時性を保証する手段として、外部機関である(株)TKCが発行する「記帳適時性証明書」を利用することも可能です。そして、「記帳適時性証明書」は「中小会計要領（または中小指針）」への準拠性についても確認することも可能です。

この三つの保証をTKC会計人の三種の神器として広く世の中に普及しなくてはならないと考えております。そのためにもTKCモニタリング情報サービスの普及促進が一番効果的かと思われます。お一人でも多くの会員事務所でご利用いただけることを願っております。センター社員一同、これまで通り、TKC方式による自計化推進を軸として、書面添付推進、TKCモニタリング情報サービス、早期経営改善計画策定支援事業の推進を全力でご支援させていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



大同生命保険株式会社
東京西TKC企業保険支社
支社長 近岡 直基

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は会員先生、事務所のみなさまに格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も会員事務所・関与先さまのご発展を目指して東京西TKC企業保険支社スタッフ・課長・支社長オール大同で努力してまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

■平成29年の企業防衛トピック

①特別研修会(4月)

23回目の実働全国1位を継続するため支部をさらに細かく分けるエリア表彰が発表され、「東京都心会実働マニュアル」が配布されました。

②上期保険指導強化期間(6～7月)

企業防衛制度推進委員会決起大会で「紹興酒」が都心会公式ドリンクに指定されたと発表がありました!みなさまのご協力をいただいて実働率V23を見事に達成いたしました!驚愕の73.7%! (152事務所が実働)

新契約	2位	新規加入	3位
-----	----	------	----

高田馬場エリア、新宿エリアが80%を突破され、合同で表彰ランチが開催されました。

③秋期大学(9月)

仮装ものまね大会に大同生命チームが出場し、残念ながら優勝を逃しましたが、女性スタッフのパフォーマンスに賞賛をいただきました!

一応、課長、男性スタッフも頑張りました。

④下期保険指導強化期間(10～11月)

戦略会議メンバーの合言葉は「トリプル1位」!

11/20～月末までの追いこみが強烈なインパクトで忘れられない強化期間になりました。

3部門全ての指標で大幅に目標を達成することができました。実働率は連続記録を更新し24連覇達成!

77.1%! (159事務所が実働)

新契約	1位	新規加入	1位
-----	----	------	----

KBDの利用率も大幅に向上しており、新設のエキスパートチェック機能をご活用される事務所も拡大中です。

年度末にむけて法人に加えて個人にも目を向けて企業防衛の取り組みを増やして行きたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■平成30年特別研修会のお知らせ

特別研修会は以下の通り予定されております。

平成30年4月12日(木) 13:30～

会 場: 明治記念館

特別講師: 増山英和先生(TKC関東信越会)

多くの会員先生・職員のご参加をお待ちしております。



積水ハウス株式会社

TKC事業部 吉田 誠

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

TKC東京都心会会員事務所様のご活動エリアの中心である首都圏の今後、数年を見通しますと、消費増税、東京五輪開催に向けたインバウンド需要の拡大、さらに先には都市農家における2022年の生産緑地問題など、住宅産業を取り巻く事業環境は大きく変化するものと考えられます。

そのために弊社としまして「請負型」「ストック型」「開発型」の3つのビジネスモデルを軸に、グループ会社の積和不動産、積和建設、昨年8月新たに加わりました積水ハウス信託と連携を図り、貴会会員事務所様を通じ、さまざまな資産防衛に対する戦略やソリューションを関与先様にご提案してまいり所存です。

そのために積水ハウス社員として、積水部会活動

と併せ以下の4つの重点運動ポイントを掲げ活動をしてまいります。

- 1、職員様向けの「関与先様の隠れた情報への気付き」となる事務所勉強会の開催。
- 2、全国の会員事務所様による資産防衛取り組み実例、販促ツール等の情報を収集し、情報提供並びに販促ツール作成のお手伝いをいたします。
- 3、積水ハウス社員による情報提供サービスを積極的に行い、会員事務所様が関与先様に対して行う不動産活用助言のお手伝いをいたします。(マッピングサービスによる不動産の見える化、不動産の現状分析、市場調査・土地活用提案、不動産査定等)
- 4、貴会会員様との協定率の向上を目指します。

(現状：ご協定会員事務所様38%) ニューメンバーズ会員先生方に、より積極的に積水ハウスのTKC事業への取り組みをご理解いただき、弊社をご活用いただけるように推進いたします。

以上4つの重点活動を軸に会員事務所の資産防衛業務に対しお役に立てるよう自利利他の精神で協定企業としての責務を果たす所存でございます。結びにあたり、2018年の貴会と会員事務所様、関与先様のさらなるご発展をご祈念申し上げます。



大和ハウス工業株式会社営業本部営業推進部

TKC関東推進室 齊藤 昭人

新年あけましておめでとうございます。昨年は東京都心会会員先生、職員の皆様には数多くのご紹介をいただき、誠にありがとうございました。

今年度の大和部会の活動は紹介キャンペーンの始まる10月からスタートしました。10月4日(水)発進大会を開催し、27名の先生方に参加いただき、小林資産活用委員長より当社の現状、石川大和部会長より活動の趣旨を説明いただきました。また、「広大地評価の改正点及びそれを踏まえての留意点」(講師：関東信越会 沖田豊明先生)というテーマで特別研修を開催いたしました。10月16日(月)～10月26日(木)にかけては、毎年恒例の職員向け資産税研修会を計4回開催いたしました。前半の基礎編は新宿支部の斎藤潤先生、後半の実務・実例編は四谷支部の村田顕吉朗先生に講師をしていただき、延べ108名の先生、職員の皆様に参加いただきました。

今年の活動は第一に、協定会員事務所様の先生、職員の皆様のお役に立てるよう、「事務所研修会」を多くの会員事務所様と行いたいと思います。不動産取引に関する基礎知識や土地活用、建築に関するいろいろな事例や問題点を研修という形で行い、関与先様のサポートに結び付けたいと思います。

第二に、「不動産の見える化」の推進です。関与先である中小企業のオーナー様や個人の不動産オーナー様の共通する悩みは、相続税の負担をどのように軽減すれば良いのか、家の財産である不動産を次の世代へできるだけ承継させたい等の問題であります。関与先様より相談された場合、会員事務所の皆様も会計・税務業務でご多忙のため、お客様所有の不動産をどこに、どんな形で所有されているのか、見に行かれる時間も少ないと思います。私どもでは、所有不動産を一覧できるようにファイル化し、「見える化」することにより、ご支援させていただきます。

大和ハウスグループは、将来を見据えた商品の提供を通じて、皆様のお役に立てるよう頑張っております。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



TKC企業共済会

安宅 重彦

新年明けましておめでとうございます。

TKC東京都心会の会員先生ならびに職員の皆様におかれましては、三共済制度の推進に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

TKC企業共済会は、昭和56年8月の設立以来、長年にわたり三共済制度（小規模企業共済制度、中小企業退職金共済制度、中小企業倒産防止共済制度）の普及・推進に取り組んでおり、平成29年度の三共済制度の推進状況は、三共済とも過去最高のペースで順調に推移しております。東京都心会においても共済制度等推進委員会の活動計画による共済制度「ランチ研修会」の開催、地域会で独自に企画・実施されている共済制度推進のための推進キャンペーン、理事会、支部例会時の最新情報の発信等が積極的に行われています。この結果、東京都心会における共済制度に取り組まれる会員事務所数は毎年順調に増加し、関与先企業への三共済制度の提案活動ならび

に経営指導が着実に定着してきています。

また、TKC企業共済会は、平成30年4月より、「一般社団法人」に組織変更いたします。TKC全国会の事業目的である「中小企業の存続・発展」にさらに貢献するため、「共済制度等推進委員会」の活動支援強化を図ってまいります。具体的には、東京都心会の「共済制度等推進委員会」の開催支援、理事会、支部例会用の情報発信ツールの提供、共済制度等推進委員会からのお知らせの提供、「TKC三共済クラウド」による情報発信と定期的なレベルアップによる共済制度の手続きの省力化を含めた支援強化に努めてまいります。

本年も会員事務所のお役に立てるよう、一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



三菱東京UFJ銀行

TKC事業室 山地 義弘

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、私どもTKC事業室の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は、会員の皆さまにとって、TKC全国会が掲げる、第2ステージ仕上げの年です。第2ステージの運動方針は、「3大テーマに取り組み社会的な役割を全うしよう！」「事務所総合力を発揮し、高付加価値体制を構築しよう！」です。

この3大テーマ「中小会計要領への準拠」、「書面添付の推進」、「自計化の推進」は、関与先企業さまの、金融機関等への信頼性確保・向上に繋がり、中小企業の存続・発展を支援する、非常に価値の高い活動です。

弊行は、昭和51年の業務提携以来、TKC全国会と強固な提携関係を永きにわたり継続させていただいています。この業務提携の目的は「日本の中小零細

企業の健全な育成と、その計数的経営管理の強化」です。この目的を実現するための活動こそが、3大テーマへの取り組みであり、その活動の価値と重要性の普及が、私ども提携金融機関の大きな役割だと認識をしています。

弊行では、この役割を果たすために、平成25年10月より融資商品『極め』を、ご提供させていただいております。ご存知の通り、『極め』はTKC会員事務所の活動の価値を、金利優遇という、非常に分かりやすい形で表現した商品です。TKC東京都心会会員の皆さまにおかれましても、すでに多くの会員の皆さまに、ご活用いただいております。

「TKCモニタリング情報サービス」「早期経営改善計画策定支援事業」など、会員の皆さまには、今、取り組むべき活動がたくさんあります。すべてが、関与先企業さまの発展に繋がる活動だと思います。弊行におきましても、関与先企業さまの発展に少しでもお役に立てるよう、会員の皆さまと共に第2ステージを邁進していく所存です。

今後とも一層のご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第215回 TKC東京都心会理事会を開催しました！

議事次第

14:00 TKC 会計人の基本理念 25 項目 19
開会挨拶 大石尚彦会長

■平成29年12月12日(火) 14:00～17:00 於:TKC東京本社2F研修室
司会:太田勝久 総務委員長



大石尚彦 会長



議 題

14:10～15:15 《報告及び審議事項等》

1. 平成30年政策発表、特別セミナー、賀詞交歓会開催企画に関する件(報告事項) 大石尚彦会長
2. 株式会社TKC入会契約書改定に関する件(報告事項) 早川博センター長
3. 総務委員会報告 太田勝久総務委員長
 - (1)TKC東京都心政経研究会との事務費用支払いに関する覚書に関する件
 - (2)資産活用委員会大和部会予備費申請に関する件(審議事項)
 - (3)会員名簿メンテナンスとProFIT掲示板への掲示サイクルに関する件 中島剛事務局長
4. 書面添付推進委員会報告 重田正人書面添付推進委員長
 - (1)税務署との意見交換会企画に関する件
 - (2)書面添付フォーラム2017開催後の会員支援活動に関する件
 - (3)所得税書面添付推進に関する件
5. 巡回監査・事務所経営推進委員会報告 小林章一巡回監査・事務所経営委員長
 - (1)TKCモニタリング情報サービス推進に関する件
 - (2)巡回監査率向上施策に関する件
 - (3)OMS普及施策に関する件(自計化ステップアップ研修)
6. 中小企業支援委員会報告 鈴木信二中小企業支援委員長
 - (1)早期経営改善計画推進に関する件
 - (2)中小企業の事業承継施策に関する件
 - (3)中小企業会計啓発・普及セミナー及び経営支援セミナーに関する件
7. FX2推進特別委員会報告 山岸崇裕FX2推進特別委員長
8. 会報誌『FOUR NINE』No.205号完成報告及びNo.206号編集に関する件 山浦佑太広報部会長
9. 平成29年度主要行事日程等に関する件(報告事項) 中島剛事務局長
10. その他事項

《活動報告》15:30～16:30

1. 支部会及び(特別)委員会活動報告(重要事項限定)

《書面報告》

1. 事務所総合力(KPI)(2017.10.31現在)
2. 重点活動項目:理事実践状況一覧表
3. 当会第1・第2HP、Blogメンテナンス及びアクセス状況等に関する件
4. 三菱東京UFJ銀行:「極め」推進状況に関する件
5. 西武信用金庫:「表敬状」普及状況に関する件(報告事項)
6. 入退会及び休会状況に関する件
7. 新入会会員等の書類取得状況に関する件
8. 会費滞納会員状況に関する件
9. 前回第214回理事会(10/24)以降に発行した「かわら版」に関する件
10. 2017年12月～2018年3月の主な行事予定に関する件

正副会長会
事務局長
広報部会、事務局長
中小企業支援委員会
中小企業支援委員会
総務部会、事務局
総務部会、事務局
経理部会、事務局
事務局長
事務局長

《TKC報告》16:30～16:40 早川博センター長

《提携・協定企業及び関係企業報告》16:40～16:55

《顧問、相談役ご講評》16:55～17:00

17:00 閉 会 副会長 齋藤 潤



顧問 村松其三 会員



顧問 筒木 勝 会員



顧問 天野清一 会員



顧問 山下明宏 会員

税務署意見交換会

TKC東京都心会「平成29年度 税務署表敬訪問・意見交換会」開催報告

TKC全国会では、毎年全税務署において、書面添付及び電子申告の実践報告をはじめとした意見交換会を開催させていただいております。本年は平成29年9月29日に東京国税局長を会長の大石尚彦会員と書面添付推進委員長の重田正人会員が表敬訪問し、新宿税務署を皮切りに、当会エリア内10税務署への訪問活動をすべて完了し、すべての税務署長にお会いすることができ、幹部の方々と意見交換をさせていただきました。ご協力誠にありがとうございました。

意見交換会では、税務署長、副署長、総務課長に(1)9/29：東京国税局長表敬訪問に関する件(2)平成28年度の税務署との意見交換会実施報告(3)書面添付(法人税、所得税)実践状況(平成28年度)に関する件(4)電子申告実践状況(平成28年度)に関する件(5)当会活動状況に関する件をご説明いたしました。

四谷税務署



四谷税務署
平成29年11月21日
大橋貞和 四谷税務署長
以下 6 名
田中順子 四谷支部長
以下 6 名

渋谷税務署



渋谷税務署
平成29年12月6日
笠原瑞弘 渋谷税務署長
以下 7 名
森脇仁子 渋谷目黒支部長
以下 7 名

世田谷税務署



世田谷税務署
平成29年11月30日
小関和夫 世田谷税務署長
以下 4 名
大石尚彦 会長
以下 4 名

新宿税務署



新宿税務署
平成29年11月8日
川鶴信行 新宿税務署長
以下 6 名
大石尚彦 会長、
梅本 昇 新宿支部長
以下 5 名

北沢税務署



北沢税務署
平成29年11月29日
奥村信一 北沢税務署長
以下 3 名
大石尚彦 会長
以下 4 名

中野税務署



中野税務署
平成29年12月7日
原 武彦 中野税務署長
以下 8 名
大石 尚彦 会長、
加藤 博資 中野杉並世田谷支部長
以下 5 名

玉川税務署



玉川税務署
平成29年11月30日
小原清志 玉川税務署長
以下 5 名
大石尚彦 会長
以下 4 名

杉並税務署



杉並税務署
平成29年12月13日
甲斐栄次郎 杉並税務署長
以下 3 名
大石尚彦 会長
以下 5 名

目黒税務署



目黒税務署
平成29年12月11日
岡 直樹 目黒税務署長
以下 6 名
大石尚彦 会長
以下 4 名

荻窪税務署



荻窪税務署
平成29年12月20日
田中順一 荻窪税務署長
以下 5 名
大石尚彦 会長
以下 5 名

税務署意見交換会

「TKC東京都心会とエリア内10税務署との意見交換会」 日程及び出席者一覧表

(敬称略)

税務署名	2017					2016				
	日	税務署出席者		当会訪問者		日	税務署出席者		当会訪問者	
		役 職	氏 名	役 職	氏 名		役 職	氏 名	役 職	氏 名
新宿	11月8日	税務署長	川鶴 信行	会 長	大石 尚彦	11月7日	税務署長	長谷部 啓	会 長	山下 明宏
		副署長	国井 利樹	顧 問	山下 明宏		副署長	花島 康夫	副会長	大石 尚彦
		副署長	いがみ 薫	副会長	齋藤 潤		副署長	田中 靖	新宿支部長	梅本 昇
		副署長	荻本 義人	新宿支部長	梅本 昇		副署長	望月 健司	新宿支部副支部長	増山 充
		総務課長	河村 明夫	新宿支部副支部長	副島 正雄		総務課長	石塚 伸弘	事務局長	中島 剛
		総務課課長補佐	荻野 典子	新宿支部副支部長	増山 充		総務課課長補佐	先崎 弘樹		
四谷	11月21日	税務署長	大橋 貞和	四谷支部長	田中 順子	11月22日	税務署長	山本 勝政	四谷支部長	田中 順子
		副署長	柳沼 保治	顧 問	天野 清一		副署長	南部 吉秀	顧問	天野 清一
		副署長	黒木総一郎	四谷支部副支部長	高城 重康		副署長	柳沼 保治	四谷支部副支部長	高城 重康
		副署長	栗國 純次	四谷支部副支部長	山浦 佑太		副署長	黒木総一郎	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課長	林 浩二	書面添付推進委員会副委員長	井上 雅登		総務課課長補佐	柳田さおり	事務局長	中島 剛
		総務課課長補佐	柳田さおり	事務局長	中島 剛					
渋谷	12月6日	税務署長	笠原 瑞弘	渋谷目黒支部長	森脇 仁子	12月7日	税務署長	三塚 一彦	渋谷目黒支部長	森脇 仁子
		副署長	宮部 国輝	渋谷目黒支部副支部長	小林 章一		副署長	宮部 国輝	渋谷目黒支部副支部長	山本 雄一
		副署長	堀 隆治郎	渋谷目黒支部副支部長	山本 雄一		副署長	深山 竜幸	渋谷目黒支部副支部長	香取 準一
		副署長	三又 修	渋谷目黒支部副支部長	香取 準一		副署長	堀 隆治郎	渋谷目黒支部副支部長	小林 章一
		副署長	川村 貴史	渋谷目黒支部副支部長	大桑 慶子		副署長	市川 康樹	書面添付推進委員	平井 陽子
		総務課長	岩崎 剛三	書面添付推進委員	平井 陽子		総務課長	岩崎 安広	事務局長	中島 剛
目黒	12月11日	税務署長	岡 直樹	会 長	大石 尚彦	1月24日	税務署長	正岡 裕章	会 長	山下 明宏
		副署長	武内 邦夫	渋谷目黒支部副支部長	鳥山 昌秀		副署長	藤本 英昭	書面添付推進委員長	重田 正人
		副署長	長谷川久恵	書面添付推進委員長	重田 正人		副署長	内田 豊子	渋谷目黒支部副支部長	鳥山 昌秀
		副署長	藤本 英昭	事務局長	中島 剛		副署長	福山 命	事務局長	中島 剛
		総務課長	木村 喜之				総務課長	木村 喜之		
		総務課課長補佐	金子 浩正				総務課課長補佐	金子 浩正		
中野	12月7日	税務署長	原 武彦	会 長	大石 尚彦	12月1日	税務署長	福住 豊	副会長	太田 勝久
		副署長	寺谷 昌克	中野杉並世田谷支部長	加藤 博資		副署長	寺谷 昌克	中野杉並世田谷支部長	加藤 博資
		副署長	岡田 達也	総務委員長	太田 勝久		副署長	飯開 義幸	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課長	岡田 学樹	書面添付推進委員長	重田 正人		総務課長	岡田 学樹	中野杉並世田谷支部副支部長	藤田 浩樹
		法人課税第一部門統括国税調査官	山元 雄二	事務局長	中島 剛		法人課税第一部門統括国税調査官	山元 雄二	事務局長	中島 剛
		個人課税第一部門統括国税調査官	小俣 考広				資産課税第一部門統括国税調査官	磯 和久		
杉並	12月13日	税務署長	甲斐栄次郎	会 長	大石 尚彦	11月28日	税務署長	川手 郁人	研修所長	濱路 義朗
		副署長	上村真理子	副会長	濱路 義朗		副署長	赤嶺 秀樹	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課長	平嶋 昌宜	書面添付推進委員長	重田 正人		副署長	上村真理子	ニューメンバーズ・サービス委員	浅川 太一
				ニューメンバーズ・サービス委員	浅川 太一		総務課長	平嶋 昌宜	事務局長	中島 剛
				事務局長	中島 剛		総務課課長補佐	新田 弘毅		
荻窪	12月20日	税務署長	田中 順一	会 長	大石 尚彦	12月1日	税務署長	吉松 慎一	副会長	太田 勝久
		副署長	江崎 秀徳	中野杉並世田谷支部副支部長	幅 今日子		副署長	井上 丈晴	厚生部会長	馬場 義男
		副署長	多田 英里	書面添付推進委員長	重田 正人		副署長	江崎 秀徳	中野杉並世田谷支部副支部長	幅 今日子
		総務課長	堀内 学	共済制度等推進委員	石原 恵子		総務課長	平山 陽子	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課課長補佐	木下セイ子	事務局長	中島 剛		総務課課長補佐	木下セイ子	事務局長	中島 剛
世田谷	11月30日	税務署長	小関 和夫	会 長	大石 尚彦	12月12日	税務署長	鈴木 喜雄	会 長	山下 明宏
		副署長	駒木 誠司	中野杉並世田谷支部副支部長	山田 勝巳		副署長	駒木 誠司	中野杉並世田谷支部副支部長	山田 勝巳
		副署長	清水 規子	書面添付推進委員長	重田 正人		副署長	石崎 浩文	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課長	加藤 卓哉	事務局長	中島 剛		総務課長	入倉 将実	事務局長	中島 剛
北沢	11月29日	税務署長	奥村 信一	会 長	大石 尚彦	11月16日	税務署長	湯本 幸治	会 長	山下 明宏
		総務課長	三浦 雄二	書面添付推進委員長	重田 正人		総務課長	三浦 雄二	書面添付推進委員長	重田 正人
		総務課課長補佐	小林 裕佳	研修所委員	真保 裕行		総務課課長補佐	松尾 幸治	支部総務委員	真保 裕行
				事務局長	中島 剛				事務局長	中島 剛
玉川	11月30日	税務署長	小原 清志	会 長	大石 尚彦	12月14日	税務署長	秋元 秀仁	会 長	山下 明宏
		副署長	木村美由紀	中野杉並世田谷支部副支部長	山中 朋文		副署長	嶋田 栄一	書面添付推進委員長	重田 正人
		副署長	小川 秀樹	書面添付推進委員長	重田 正人		副署長	木村美由紀	ニューメンバーズ・サービス委員	山中 朋文
		総務課長	佐藤 康久	事務局長	中島 剛		総務課長	長谷川 潤	事務局長	中島 剛
		総務課課長補佐	清水 康生				総務課課長補佐	清水 康生		

日本政策金融公庫東京地区全支店と TKC東京5会地域会会長との情報交換会を開催しました！

■開催日：平成29年11月24日(金) 於：TKC東京本社3F研修室

11月24日(金)に日本政策金融公庫東京地区全支店とTKC東京5地域会会長との情報交換会を開催しました。日本政策金融公庫とは、長きにわたり連携を深めてきました。今回は、最新の活動状況を相互が確認する機会とし、日本政策金融公庫各支店と各地域会が連携を更に強化するためものです。TKC東京5地域会からは、「中小企業会計啓発・普及セミナー」の開催企画の提案があり、各支店で開催することが了承されました。

■タイムテーブル

司会：TKC城北東京会 会長 本間正樹氏

10:00~10:10 開会挨拶

TKC全国会 副会長 首都圏統括 松本憲二氏
日本政策金融公庫 融資企画部長 斉藤真人氏

10:10~10:15 参加者自己紹介

10:15~11:15 TKC東京5地域会からの情報提供
(TKC東京都心会 中小企業支援委員長 鈴木信二 会員)

11:15~11:30 日本政策金融公庫からの情報提供
(東京広域営業推進室長 吉村英行氏)

11:30~11:45 質疑応答・クロージング

11:50~12:15 昼食会



TKC全国会
松本憲二氏



日本政策金融公庫
斉藤真人氏



TKC東京都心会
鈴木信二 会員



日本政策金融公庫
吉村英行氏

日本政策金融公庫：18名

(敬称略)

国民生活事業本部 融資企画部長	斉藤 真人
国民生活事業本部 東京地区統轄	山田 康二
東京中央支店 国民生活事業統轄	坂本 浩之
新宿支店 国民生活事業統轄	三浦 利夫
大森支店 国民生活事業統轄	岡田 元夫
池袋支店 国民生活事業統轄	井原 守茂
江東支店 国民生活事業統轄	中金 篤史
東京支店 国民生活事業統轄	金子英一郎
千住支店 国民生活事業統轄	飯澤 貴志
渋谷支店 国民生活事業統轄	阿部 淳一
五反田支店 国民生活事業統轄	秋本 直樹
上野支店 国民生活事業統轄	阿部 正樹
板橋支店 国民生活事業統轄	黒岩 千春
立川支店 国民生活事業統轄	安藤 隆
三鷹支店 国民生活事業統轄	佐藤 則男
八王子支店 国民生活事業統轄	若林 良行
東京地区統轄室長	長満 崇
東京広域営業推進室長	吉村 英行

TKC：20名

(敬称略)

TKC 全国会 副会長	松本 憲二
TKC 東・東京会 会長	田口 操
TKC 東京都心会 会長	大石 尚彦
TKC 東京中央会 会長	丸山 定夫
TKC 城北東京会 会長	本間 正樹
TKC 西東京山梨会 会長	川西 京也
TKC 東・東京会 中小企業支援委員長(副)	石田 肇
TKC 東京都心会 中小企業支援委員長	鈴木 信二
TKC 西東京山梨会 中小企業支援委員長	金子 庄一
TKC 東・東京会 事務局長	福本 英幸
TKC 東京都心会 事務局長	中島 剛
TKC 東京中央会 事務局長	宮川 隆嗣
TKC 城北東京会 事務局長	山田 直人
TKC 西東京山梨会 事務局長	松山 義之
株式会社 TKC 首都圏統括センター長	角能 一徹
株式会社 TKC 首都圏東SCGサービスセンター長	森脇 一光
株式会社 TKC 首都圏西SCGサービスセンター長	早川 博
株式会社 TKC 首都圏南SCGサービスセンター長	神立 直樹
株式会社 TKC 首都圏北SCGサービスセンター長	串田 治人
株式会社 TKC 八王子SCGサービスセンター長	内野 朱子



日本政策金融公庫3支店（新宿・渋谷・五反田）合同 情報交換会を開催しました

■開催日：平成29年11月24日（金） 16：30～19：30 於：TKC東京本社 2階会議室
参加者：日本政策金融公庫新宿支店15名、渋谷支店14名、五反田支店4名
TKC会員・職員23名、(株)TKC4名、事務局1名 総勢61名

日本政策金融公庫とは、長年連携を深めておりますが、まだ接点がなく日本政策金融公庫の利用方法を知らない会員向けに、日本政策金融公庫の活用方法等を知っていただき、「顔の見える関係」を構築し、さらなる連携を深める目的で情報交換会を開催しました。

■次第

1. 本日の開催主旨・目的
…… 日本政策金融公庫新宿支店 支店長 三浦利夫 氏
2. 挨拶
…… TKC東京都心会会長 大石尚彦
3. 日本政策金融公庫の業務内容と連携方法
 - ①公庫を利用するメリット
 - ②民間金融機関と公庫との違い
 - ③スムーズに融資を受けるためのポイント
…… 日本政策金融公庫新宿支店 支店長 三浦利夫 氏
 - ④おすすめの融資制度
…… 日本政策金融公庫渋谷支店融資二課長 安部健司 氏
4. TKC東京都心会の取組み
…… TKC東京都心会 中小企業支援委員長 鈴木信二
5. 質疑応答
6. 閉会挨拶…… 日本政策金融公庫渋谷支店 支店長 阿部淳一 氏
7. 懇親会



日本政策金融公庫
三浦利夫 氏



TKC東京都心会
大石尚彦 会長



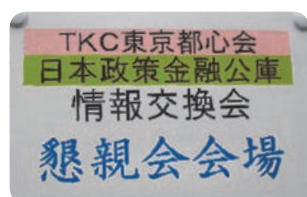
日本政策金融公庫
安部 健司 氏



TKC東京都心会
鈴木信二 会員



日本政策金融公庫
阿部 淳一 氏



TKCモニタリング情報サービスを活用しましょう!

平成29年12月28日現在

関与先と金融機関の関係を強化するための新しいサービス「TKCモニタリング情報サービス」を提供開始しました! 関与先からの委託に基づいて、これまで金融機関に紙で提供していた決算書・月次試算表等をインターネット経由で金融機関に提供できます。

■東京都内では24機関の金融機関で提供可能です!

平成29年12月28日現在、**全国で**、対応準備中含め**302金融機関**が採用しています。
東京都の対応金融機関は以下の通りです。

提供可

三菱東京 UFJ 銀行	東京三協信用金庫	足立成和信用金庫
三井住友銀行	第一勧業信用組合	東京東信用金庫
りそな銀行	亀有信用金庫	東栄信用金庫
商工組合中央金庫	New 興産信用金庫	朝日信用金庫
新銀行東京	東京信用金庫	青梅信用金庫
八千代銀行	小松川信用金庫	瀧野川信用金庫
東京都民銀行	巣鴨信用金庫	多摩信用金庫
西武信用金庫	さわやか信用金庫	New 大東京信用組合

最新情報やサービス詳細は、
ProFITのコーナーを
ご確認ください!

💡 決算月を待たずにお申込み頂けます

「決算書等提供サービス」のご利用が増えています!

■東京近郊における対応状況

神奈川県 6機関提供済み

横浜銀行	神奈川銀行	湘南信用金庫
横浜信用金庫	かながわ信用金庫	
川崎信用金庫		

千葉県 7機関提供済み

千葉銀行	佐原信用金庫
京葉銀行	銚子商工信用組合
千葉信用金庫	君津信用組合
	房総信用組合

埼玉県 3機関提供済み

埼玉りそな銀行
飯能信用金庫
青木信用金庫

「TKCモニタリング情報サービス」実践状況一覧表 (会員事務所別)

(2017年12月31日現在)

税理士法人新日本簡木	新宿支部	脇坂誠也税理士事務所	渋谷目黒支部
梅本会計事務所	新宿支部	税理士法人 BLUESKY	渋谷目黒支部
山下明宏税理士事務所	新宿支部	重田正人税理士事務所	中野杉並世田谷支部
税理士法人グランクスパートナーズ	新宿支部	税理士不動産鑑定士宮内真志事務所	中野杉並世田谷支部
税理士法人アイ・タックス	渋谷目黒支部	山本会計事務所	渋谷目黒支部
税理士法人報徳事務所東京本部	新宿支部	本間・佐藤会計事務所	新宿支部
税理士法人アクア	新宿支部	山岸睦夫税理士事務所	渋谷目黒支部
都心総合会計事務所	四谷支部	高城会計事務所	四谷支部
税理士法人 A.I. ブレイン	四谷支部	税理士法人いつわ会計事務所	新宿支部
鳥山会計事務所	渋谷目黒支部	板倉会計事務所	渋谷目黒支部
税理士法人井出会計事務所	渋谷目黒支部	税理士法人尾藤会計事務所	新宿支部
税理士法人 Arzt	新宿支部	コンパッソ税理士法人	渋谷目黒支部
太田会計事務所	中野杉並世田谷支部	岩田税理士事務所	新宿支部
税理士法人オハラ会計事務所	渋谷目黒支部	三枝俊英税理士事務所	渋谷目黒支部
村田顕吉朗税理士事務所	四谷支部	須江和彦税理士事務所	渋谷目黒支部
山中朋文税理士事務所	中野杉並世田谷支部	山浦佑太税理士事務所	四谷支部
土屋和紀税理士事務所	中野杉並世田谷支部	加藤博資税理士事務所	中野杉並世田谷支部
フレンド税理士法人	新宿支部	田井会計事務所	四谷支部
森木会計事務所	四谷支部	種生文士税理士事務所	四谷支部
緒方会計事務所	四谷支部	西村 & パートナーズ会計事務所	渋谷目黒支部
濱路義朗税理士事務所	中野杉並世田谷支部	森超税理士事務所	中野杉並世田谷支部
田中清人会計事務所	新宿支部	井上税務会計事務所	四谷支部
斎藤潤会計事務所	新宿支部	本間康弘税理士事務所	中野杉並世田谷支部
税理士法人 S・K パートナーズ	渋谷目黒支部	飯室会計事務所	渋谷目黒支部

平成29年5月29日～ 早期経営改善計画策定支援

資金繰り管理や採算管理等の 早期の経営改善を支援します

■専門家の力を借りて自己の経営を見直しませんか？

国が認める士業等専門家の支援を受けて資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図など早期の経営改善計画書を策定する場合、専門家に対する支払費用の2/3（上限20万円まで※）を負担する事業を実施します。

※モニタリング費用を含む

特徴

- ① 条件変更等の金融支援を必要としない、簡潔な計画です
- ② 計画策定から1年後、フォローアップで進捗を確認できます
- ③ 計画を策定することで自社の状況を客観的に把握できます
- ④ 必要に応じ本格的な経営改善や事業再生の支援策をご紹介します

■こんな方にお勧めです

今のところ返済条件等の変更は必要無いが、

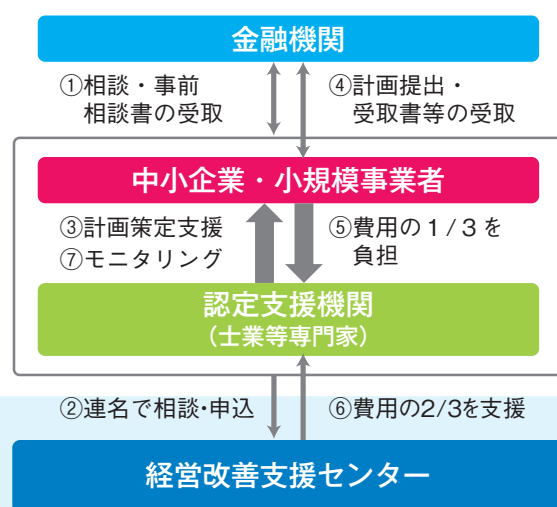
- このところ、資金繰りが不安定だ
- よくわからないが売上げが減少している
- 自社の状況を客観的に把握したい
- 専門家等から経営に関するアドバイスが欲しい
- 経営改善の進捗についてフォローアップをお願いしたい

まずは最寄りの経営改善支援センターに
問い合わせください。



中小機構

●利用イメージ図



■早期経営改善計画

「利用申請受理の通知」報告の実践会員（2017年12月31日現在）

（敬称略）

会 員 名	支 部 名	会 員 名	支 部 名
山下 明宏	新 宿 支 部	副島 正雄	新 宿 支 部
鈴木 信二	新 宿 支 部	大井 敏生	四 谷 支 部
森脇 仁子	渋谷目黒支部	天野 清一	四 谷 支 部
筒木 勝	新 宿 支 部	山岸 崇裕	四 谷 支 部
大石 尚彦	新 宿 支 部	村田顕吉朗	四 谷 支 部

自計化キャンペーン
第2弾TKC全国会重点活動テーマ第2ステージ
第2弾「自計化推進キャンペーン」のご案内

TKC東京都心会では、TKC全国会重点活動テーマ第2ステージに掲げられた「事務所総合力を発揮し、高付加価値体制を構築！」に全力で取り組む事務所基盤整備のため、下記の通り第2弾「自計化推進キャンペーン」を実施いたします。

これからの事務所繁忙期における自計化推進に、当キャンペーンを積極的にご活用いただきますようご案内申し上げます。

1 期 間 平成30年1月1日(月)～平成30年3月31日(土)

- 2 内 容**
- (1) 新規自計化推進社数(関与先セットアップライセンスの購入)に応じ「クオカード」を贈呈いたします。
 - FX2シリーズ(e21まいスター、業種別等含む): 2,000円/社
 - FX4クラウド(業種別含む): 5,000円/社
 - (2) 複数導入(5社以上)いただいた場合
「FX2用かんたん! 経理スタートブック」
「e21まいスター経理スタートブック」を導入社数分贈呈します。
 - (3) 新規に自計化を実践された場合【特別表彰】
初めてまたは直近2年間(H28.1～H29.12)に推進実績がない事務所が導入された場合、表彰状および特別記念品を贈呈いたします。

- 3 適用条件**
- (1) 「自計化推進宣言書」をTKC東京都心会に提出いただきます。
※前回提出頂いた事務所様は不要ですが、キャンペーン期間中の推進目標数を宣言いただきます。
 - (2) 「東京都心会推進事務所一覧(速報含む)」にて事務所名を公表いたします。
 - (3) ProFITにて、翌月巡回監査率を公表いただきます。

- 4 その他**
- (1) TKC全国会重点活動テーマにおける東京都心会目標(8,524社)達成へ向け、当期間内目標数(新規400社)を上限とします。
なお、当キャンペーンは期間中であっても、目標達成次第終了となります。

※詳細は、貴事務所担当SCGにお問合わせください。

個人事業者へ自計化提案



給与から始めるe21まいスター

ご確認ください!!

■巡回監査率分析表を活用されていますか？

巡回監査率分析表は事務所の関与状況が一目でわかる通信簿です！

巡回監査率分析表																																	
平成28年 3月31日現在 (前年比は前年同月比です。)																																	
No.	関与先名	セグメント システム	入力 システム	当月の監査月						監査実施経過表												平均翌月 監査率%	売上高		経常利益		税引前当期純利益		黒字決算		自己資本 (百万円)	自己資本 比率	返済 予定額
				9	10	11	12	1	2	3計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3	当期	前年比	当期	前年比	当期	前年比	3			
1623	株式会社 中興食品	三表	F X 2					○									◎			100.0	38,417	-	3,265	-	2,831	-	-	-	○	34	18.7	抜本	
3101	株式会社 T K C 商事	三表	F X 2														◎			90.9	534,667	102.8	53,780	101.3	51,424	100.5	○	○	○	135	21.5	抜本	
3102	株式会社 宇都宮製作所	三表	F X 2														◎			100.0	401,771	105.1	18,103	104.8	17,354	120.4	○	○	○	62	19.6	抜本	
3111	株式会社 埼玉物産		F X 4														◎			100.0	600,287	99.2	20,521	82.1	20,115	86.3	○	赤	○	105	33.6	達	
3112	株式会社 川崎工業	三表	エントリ					○	○								◎			63.6	202,542	103.2	6,146	103.6	3,654	106.1	○	○	○	31	16.4	抜本	
3114	札幌工業 株式会社	三表	エントリ					○									◎			72.7	198,254	-	-3,641	-	-3,641	-	-	赤	23	31.4	抜本		
3115	株式会社 帝広商事	三表	エントリ					○									◎			30.0	299,821	96.1	7,898	102.5	7,898	102.5	○	○	○	39	18.6	抜本	
3118	青森運輸 株式会社	三表	F X 2					○									◎			100.0	227,592	100.4	5,849	96.3	3,450	64.3	○	○	○	67	63.4	抜本	
3202	鶴田クリニック	医業	医薬DB					○									◎			75.0	291,031	981.0	21,504	94.3	-1,304	35.4	○	○	赤	赤	16	6.3	抜本
3212	株式会社 横浜商事	三表	F X 2														◎			80.0	530,154	104.5	11,705	114.3	11,705	114.3	-	○	○	32	6.9	抜本	
3312	※株式会社 鹿沼製作所	三表															◎			0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	12	16.1	込	
3224	新孝 秋田	三表	エントリ					○									◎			63.6	127,272	95.3	3,398	75.4	3,120	98.1	△	○	△	41	12.4	込	
3302	株式会社 小山食品	三表	エントリ					○									◎			45.5	187,507	103.1	7,841	100.1	7,841	103.4	-	○	○	29	19.3	込	
7333	有限会社 栃木クリーニング	三表	エントリ					○									◎			60.0	47,669	98.6	-423	99.9	-423	99.9	○	赤	赤	-25	-5.3	込	
8103	株式会社 平城建設	建設	D C 2					○									◎			80.0	195,597	93.3	-2,590	92.4	-2,590	92.4	○	赤	赤	赤	61	15.0	込
9423	T K C 福祉会	福祉	社 員														◎			63.6	129,324	100.0										抜本	
9452	有限会社 東南商事	三表	おイスタ		○	○	○	○									◎			100.0	5,644	101.3	-135	62.4	-135	62.4	-	-	赤	赤	19	5.1	込
2225	山形食品	個人	おイスタ														◎			50.0	926	97.8	177	110.3								込	
2245	山本食品	個人	F X 個人					○									◎			77.8	71,466	102.5	5,216	96.3								込	
2313	東京商店	個人	F X 個人					○									◎			100.0	2,131	97.9	182	71.3								込	
2343	千葉商店	個人	エントリ					○									◎			30.0	4,560	105.3	360	115.5								込	
2422	※宮城 正一	個人	エントリ		△	△	○										◎			0.0	8,765	99.1	3,905	96.1								込	

監査の状況が一目でわかります

売上から利益、消費税情報まで
一目でわかります！

(注) 関与先名の先頭に「※」が表示されている関与先は、「翌月監査率」等の集計の対象外です。

財務システム利用件数	システム名	当 月	前年同月	自計化システム利用件数	システム名	当 月	前年同月	巡回監査進捗度表	最新の監査月		件数（構成比）
	①財務三表	12 件	11 件		①FX2／FX3等	7 件	3 件		①平成28年 3月	0 件（ 0.0%）	
	②医業会計	1 件	0 件		②e21まいスター	2 件	1 件		②平成28年 2月	10 件（ 50.0%）	
	③建設業会計	1 件	1 件		③MX2／MX3	1 件	0 件		③平成28年 1月	9 件（ 45.0%）	
	④運送事業会計	0 件	0 件		④DA1C2／DA1C3	1 件	1 件		④平成27年12月	1 件（ 5.0%）	
	⑤学校法人会計	0 件	0 件		⑤学校法人DB／幼稚園DB	0 件	0 件		⑤平成27年11月	0 件（ 0.0%）	
	⑥公益法人会計／NPO法人会計	0 件	0 件		⑥公益法人DB／NPODB	0 件	0 件		⑥平成27年10月	0 件（ 0.0%）	
	⑦社会福祉法人会計等	1 件	1 件		⑦社会福祉DB等	1 件	1 件		⑦平成27年 9月	0 件（ 0.0%）	
	⑧宗教法人会計	0 件	0 件		⑧宗教法人DB	0 件	0 件		⑧平成27年 8月	0 件（ 0.0%）	
	⑨個人財務	4 件	4 件		⑨FX4クラウド等	1 件	0 件		⑨平成27年 7月	0 件（ 0.0%）	
	⑩収支計算書	0 件	0 件		小 計	13 件	6 件		⑩平成27年 6月前	0 件（ 0.0%）	
⑪FX4クラウド等	1 件	1 件	⑩PX2／PX3	2 件	1 件	合 計	20 件（ 100.0%）				
合 計	20 件	18 件	⑪SX2／SX3	3 件	2 件						

システムの利用状況から
巡回監査の進捗まで一目でわかります！

この巡回監査率分析表を有効活用するためにはマスターの管理をしっかりとっておくことが必要です。

次頁をご確認いただき、翌月巡回監査の必要な関与先か？

新規関与先等で毎月の監査はまだできない関与先か？

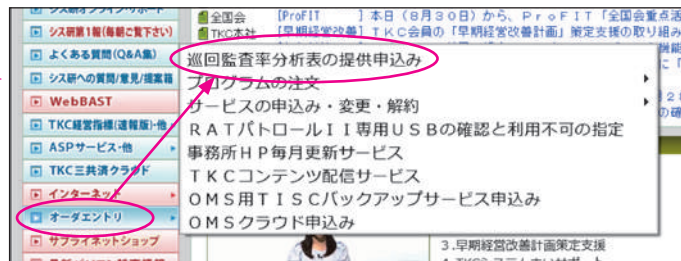
しっかり区別して登録してください。

巡回監査率分析表の活用のためには・・・

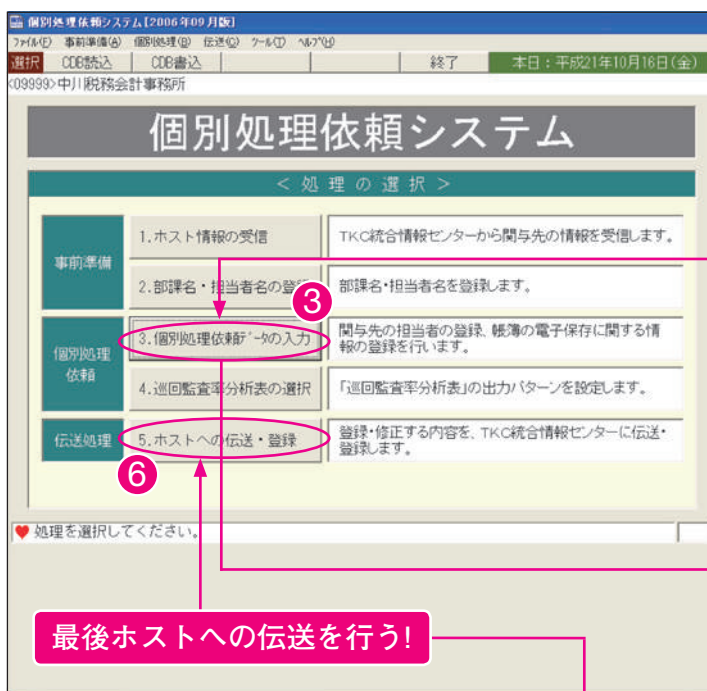
マスターに「＊」マークを付けることも必要です！
これにより翌月巡回監査率の計算から除外されます・・・

—— 個別処理依頼システムで手続きをお願いいたします ——

● 翌月巡回監査率分析表を利用するのが初めての方

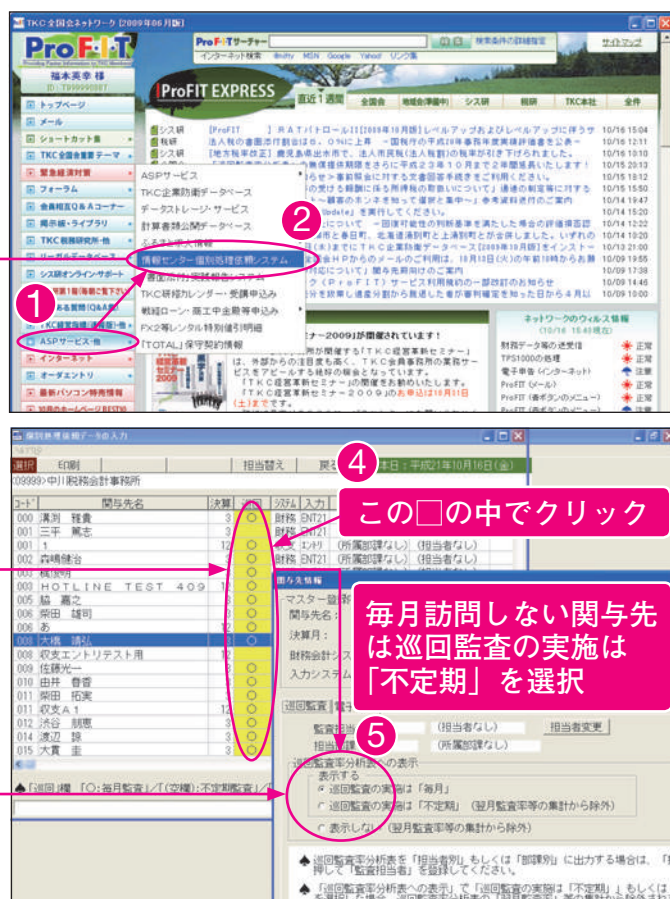
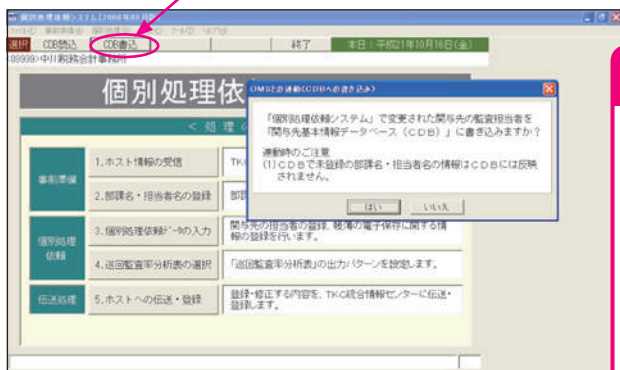


● 翌月巡回監査率分析表の有効利用の準備



最後ホストへの伝送を行う！

OMS利用の場合はCDB書込を必ず行ってください。



毎月訪問しない関与先は巡回監査の実施は「不定期」を選択

こんな関与先は「＊」マークをつけて集計除外に！

- ① 年1回処理の関与先
(個人事業者の不動産所得のみの関与先等)
- ② 数か月に1回処理する契約の関与先
- ③ 初期指導中の関与先
- ④ 関与から外れた元関与先

上記関与先をそのままにしておくと正確な「翌月巡回監査率」が管理できません。ぜひ数か月に一度程度の見直しを。

平成29年度

「巡回監査士試験」「巡回監査士補試験」 合格者一覧表(東京都心会)

平成29年11月に行われました平成29年度「巡回監査士試験」及び「巡回監査士補試験」において、以下の方々が見事合格されました。今後の皆さんのご活躍を心より祈念いたします。

巡回監査士試験合格者

(敬称略)

事務所名	氏 名
佐藤元芳税理士事務所	浜埜 浩之
税理士法人尾藤会計事務所	生田星之介
税理士法人尾藤会計事務所	小池 正泰
税理士法人尾藤会計事務所	三阪友記子

巡回監査士補試験合格者

(敬称略)

事務所名	氏 名
太田勝久税理士事務所	岡崎 真悟
クローバー税理士法人	阿部 継
クローバー税理士法人	佐野 修平
税理士法人 Arzt	片野 博之
税理士法人A.Iブレイン	金子 美鳥
税理士法人A.Iブレイン	道前 達矢
税理士法人A.Iブレイン	中山 友理
税理士法人グランクスパートナーズ	青鹿 桂子
税理士法人尾藤会計事務所	荒川 陽子
税理士法人尾藤会計事務所	大塚 公美
税理士法人尾藤会計事務所	川田 純也
税理士法人尾藤会計事務所	吉良 昌雄
税理士法人尾藤会計事務所	三澤 由希
税理士法人尾藤会計事務所	山本 優子
鳥山昌秀税理士事務所	北村 茉由
奈良洋税理士事務所	富澤 清彦
橋本德行税理士事務所	高橋 智子
村田顕吉朗税理士事務所	木村宗太郎
村田顕吉朗税理士事務所	佐々木 愛



新入会員紹介

〈平成29年11月24日～12月28日〉

(敬称略)

氏 名	入会日・転入日	住 所	電話番号	支 部
島根 猛	H29.11.24	151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-13-18 オフィスコート代々木A5	03-6274-8507	渋谷目黒
筒木 光	H29.11.24	169-0075 新宿区高田馬場2-14-26-2F 税理士法人新日本筒木	03-5272-6900	新宿
黒川 貴司	H29.12.1	150-0013 渋谷区恵比寿1-9-10 ドエリング恵比寿802号室	03-6450-2785	渋谷目黒
小内 邦敬	H29.12.7	150-0021 渋谷区恵比寿西1-8-7 見須ビル3・8F Ebisu税理士法人	03-3463-0741	渋谷目黒
新井 卓	H29.12.28	160-0023 新宿区西新宿7-5-9-301 税理士法人AKパートナーズ	03-5937-2722	新宿

第15回TKC東京5会及び大同生命対抗「軟式野球大会」を開催しました！

＝ 4年ぶり8回目の優勝を飾る！ ＝

■開催日：平成29年11月2日(木) 於：明治神宮外苑 軟式球場

毎年恒例のTKC東京5会及び大同生命による「軟式野球大会」を開催しました。

当会チームは、一回戦で大同生命を14対1で破り、得失点差で決勝戦に進みました。決勝戦では、東京中央会を5対3で下し、4年ぶり8回目の優勝を飾りました。

試合結果

- ☆1回戦：○東・東京会 8対7 ●西東京山梨会
○東京中央会 23対7 ●城北東京会
○東京都心会 14対1 ●大同生命
- ☆決勝戦：○東京都心会 5対3 ●東京中央会
- ☆3・4位決定戦：○城北東京会 14対10 ●東・東京会
- ☆5・6位決定戦：○西東京山梨会 16対4 ●大同生命

★個人賞 (東京都心会のみ掲載)

MVP 本間康弘
珍プレー賞 吉田和彦



企業防衛

企業防衛制度推進委員会委員長 尾藤 清隆



下期保険指導強化期間(10～11月)地域会コンテスト

＝ 史上初 トリプル全国第1位を達成！ ＝

「新規加入関与先部門」、「実働率部門」、「新規契約部門」の3部門すべてにおきまして、全国第1位を獲得することができました。

これも当会会員皆様の真摯な企業防衛推進活動の賜物であると感じております。今後も、関与先完全防衛のために、継続した活動を展開してまいりたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



■最終結果

新規加入関与先部門

第1位

(単位：社、%)

順位	地域会	目標	実績	達成率▼	法人	前年比	個人	前年比
1	東京都心会	192	196	102.0	90	94.7	106	119.1
2	神岡会	222	219	98.6	113	87.6	106	89.1
3	中部会	453	423	93.3	184	94.4	239	107.7
4	近畿京滋会	177	163	92.0	80	101.3	83	150.9
5	南近畿会	210	182	86.6	100	99.0	82	136.7
6	近畿兵庫会	153	132	86.2	71	134.0	61	113.0
7	千葉会	147	126	85.7	68	125.9	58	116.0

実働率部門

第1位

(単位：名、%)

順位	地域会	生保登録 会員数 (H29.3月末)	個人保険 実働会員数	個人保険 実働率▼
1	東京都心会	206	152	73.7
2	近畿京滋会	211	138	65.4
3	九州会	566	332	58.6
4	神奈川会	286	167	58.3
5	神岡会	260	151	58.0
6	中国会	397	223	56.1
7	千葉会	184	102	55.4

新契約部門

第1位

(単位：億円、%)

順位	地域会	目標	実績	就業不能リスク分野実績							
				達成率▼	前年比	達成率	Jタイプ 実績	Tタイプ 実績	Mタイプ 実績	介護 実績	
1	東京都心会	222	217.2	97.8	100.4	70.3	104.9	31.4	26.1	9.0	3.8
2	千葉県会	159	142.1	89.3	139.9	56.4	117.5	25.9	20.9	6.5	3.2
3	中国会	384	336.6	87.6	100.8	117.1	100.9	46.8	44.3	17.1	8.9
4	神岡会	276	238.9	86.5	86.5	88.6	106.8	45.9	25.2	12.4	5.2
5	城北東京会	108	91.6	84.8	89.6	34.7	105.2	15.7	13.4	3.7	1.9
6	東京中央会	180	143.9	79.9	96.9	56.1	103.9	23.3	19.6	7.9	5.3
7	中部会	510	398.5	78.1	84.3	149.3	97.5	68.7	51.5	20.8	8.2
8	九州会	534	404.1	75.6	95.1	148.5	92.2	69.8	49.4	21.0	8.4
9	北陸会	180	135.0	75.0	74.5	44.2	81.8	19.4	16.0	6.2	2.6

2018年(平成30年)TKC東京都心会 政策発表、新春特別セミナー、賀詞交歓会のご案内

平成30年政策発表、新春特別セミナー、賀詞交歓会を開催させていただきます。万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

開催日時	2018年(平成30年)2月2日金 13:30～18:45 * なお、同日11:40～12:10に第23回TKC東京都心政経研究会定期大会が開催される予定です。
開催場所	明治記念館 〒107-8507 東京都港区元赤坂2-2-23 (JR信濃町駅下車徒歩3分) TEL 03(3403)1171
内 容	(生涯研修受講時間：3時間算入) 13:30～14:10 2018年(平成30年)TKC東京都心会 政策発表 14:10～14:35 (特別)委員会報告 14:35～14:45 TKC報告 14:45～15:15 提携金融機関からのご案内 15:30～16:30 【特別セミナー】 「捨てられる銀行」 講師：橋本卓典 氏 (共同通信社経済部金融庁キャップ) 16:45～18:45 2018年(平成30年)新春賀詞交歓会 *参加費 会員：5,000円(企業10,000円) 職員：無料(特別セミナーまで) 参加費は、当日、受付でお支払ください。

橋本卓典 氏 【プロフィール】



共同通信社経済部金融庁キャップ
 1975年東京都生まれ。
 慶應義塾大学法学部政治学科卒業。
 2006年共同通信社入社。
 経済部記者として流通、証券、大手銀行、金融庁を担当。
 09年から2年間、広島支局にも勤務。
 金融を軸足に幅広い経済ニュースを追う。
 15年から2度目の金融庁担当で、地域金融を中心に取材。
 著書『捨てられる銀行』『捨てられる銀行2 非産運用』
 (ともに講談社現代新書)等